

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)

【公開番号】特開 2001-240690 (P2001-240690A)

【公開日】平成 13 年 9 月 4 日 (2001.9.4)

【出願番号】特願 2000-378238 (P2000-378238)

【国際特許分類】

C 0 8 J 9/00 (2006.01)

B 2 9 C 55/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/06 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

B 2 9 K 23/00 (2006.01)

B 2 9 K 105/04 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 9/00 C E S A

B 2 9 C 55/02

C 0 8 K 3/00

C 0 8 L 23/06

C 0 8 L 23/06

C 0 8 L 23:08

B 2 9 K 23:00

B 2 9 K 105:04

B 2 9 L 7:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 15 日 (2007.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】 請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の多孔性フィルムの製造方法であって、ポリオレフィン系樹脂 25 ～ 55 重量%、及び無機充填剤 75 ～ 45 重量%を含む組成物からフィルムを成形し、得られたフィルムを少なくとも機械方向に延伸する多孔性フィルムの製造方法において、ポリオレフィン系樹脂として、線形低密度ポリエチレン 98 ～ 70 重量%及び分岐状低密度ポリエチレン 2 ～ 30 重量%含む樹脂を用い、前記組成物 100 重量部に対して、液状のエチレン・ α -オレフィンオリゴマー 0.5 ～ 5 重量部を添加し、且つ、機械方向の延伸に際し、少なくとも 100 m/min のライン速度で延伸しながら巻き取ることを特徴とする多孔性フィルムの製造方法。